

大阪市多文化共生指針（仮称）のたたき台素案

共生社会の理念

共生社会とは、多様な価値観や文化を認めあう社会であり、国籍や民族、性別や出身などの違いを理由として不当な社会的不利益を被ることなく、一人ひとりが個人として尊重され、相互に対等な関係を築き、その持てる能力を十分発揮しつつ自己実現をめざして、社会参加できる創造的な豊かな社会です。

まちづくりの目指す方向性

誰もが安心・安全に暮らせることを実感できるまちづくり

- 日本語を十分に理解できないことなどから情報が届かず、必要とされる行政サービスの提供に不平等が生じることのないように情報の多言語化等を進めます。
- 文化、習慣の違いを原因とするトラブルを防止し、円滑に地域生活を営むことのできるように、生活関連情報の提供の充実を図ります。
- 外国籍住民が抱える生活に関わる様々な相談を受け、助言、情報提供を行う窓口の機能充実を図ります。

重点的な取組み

- 災害時多言語支援センターの整備
- ICTを活用した多言語翻訳の充実
- 外国籍住民向けワンストップ相談窓口の整備

その他具体的取組み

- 在留外国人への災害情報の提供の充実
- 外国籍住民向け防災学習会の実施
- 「やさしい日本語」による情報提供の普及
- 生活ガイドの周知促進
- 区役所など身近な行政窓口での相談、情報提供の充実

誰もが社会に受け入れられていることを実感できるまちづくり

- 多文化共生に関する人権啓発を進めます。
- 文化の違いを活力ある社会づくりのための資源と捉え、相互理解、共感を生み出す多文化理解、交流の取組みを進めます。

- 多様な主体との協働による相互理解、交流の取組みの促進

- ヘイトスピーチへの対応
- 多文化共生をテーマにした講演会等の開催
- 地域の多文化共生推進のための助言情報提供

誰もが社会参加できる力と意欲をもち、参加機会を実感できるまちづくり

- 日本語指導が必要な児童・生徒に対してきめ細やかな学習支援を進めます。
- 外国にルーツをもつ児童・生徒の母語、母文化を尊重した教育を進めます。
- 生活者としての外国籍住民に対する日本語教育の充実を図ります。
- 多様性を活かした地域活性化の取組みを支援します。
- 留学生や専門技能を持った外国人材が活躍できる環境づくりを進めます。

- 児童生徒に対する日本語学習支援の充実
- 多文化共生教育の推進
- 生活者に対する日本語教育の充実

- 児童生徒の学習支援と居場所づくり
- プレスクールの開催
- 外国人生徒のキャリア教育の推進
- 外国籍住民のボランティア活動の促進
- 留学生のキャリア支援

推進するしくみづくり

取組みごとに設定した目標値の進捗管理

当事者や支援者等からの意見聴取、第三者からの評価の実施

国、府、教育機関、企業、地域団体、市民活動団体等との連携促進

地域国際化協会、生涯学習施設との連携促進